

ヤブにらみレコード考

YABUNIRAMI RECORD KOU

No.1 レコードコレクターあれこれ

蒐集家 —— コレクターと呼ばれる人たちがいつのころから存在したかは定かではありませんが、この世に「モノ」が存在する限り、コレクターが減るということはないのではないのでしょうか。

輸入クラシックレコードの世界もご多分にもれず多くのコレクターが存在し、殊にCDの普及とともに、レコードの世界にはより一層ひたむき（マニアック）なコレクターが残ることになりました。また、ここ10年ほどは世界的にCDの普及が進んだこともあり、今まではほとんど目にできなかったような希少盤や、知られていなかった演奏家のレコードが海外から次々と入荷するようになってきています。

クラシックのレコードコレクターと一口に言いましても、蒐集の動機は十人十色。「CDよりも音が良い」「レコードでしか入手できない」などといった形而下的なものから、「どこがという訳ではないけれども、CDはどうも蒐集の対象として芸術性に欠ける」といった何やら深遠なものまで様々です。

動機が十人十色なのですから、蒐集の対象もまた十人十色であるはずなのですが、不思議なことに蒐集の対象となるレコードは意外に偏っているようにも感じ

られます。ひよっとすると、これは必然なのかもしれません。

このような傾向はレコードの分野に限ったことではないのですが、特にレコードコレクターは希少なものを求める傾向にあります。無いものねだり、とはよく言ったものですが、希少であればあるほど、そして、同好の士が知らないようなレコードであればあるほど、そのレコードに対する蒐集欲、所有欲は一層高まるようです。

逆説めいてきますが、あるコレクターにとって、これが一番良い演奏だ、と思えても、そのレコードが誰にでも手にできるほどあちらこちらで売られているとなると、なぜかそのレコードを买おうとする手が止まってしまうのではないのでしょうか。挙句には、やはりあれはとびきりの名演奏ではないのではないか、などと冗談のような話になってしまいます。

趣味が高じて、ひよんな事からレコード店を始めることになってしまったとはいえ、今だにコレクターを標榜する私にとって、このような話は大いに身に覚えがあるものです。

とはいえ所詮、蒐集 —— コレクションの動機の根源は自己満足。誰が何と言おうと唯我独尊、自分の好きな演奏を求めてゆくコレクターがもっと増えることによって、この世界もより一層面白くなるのではないかと思う今日この頃です。

(K)

当店では、主にクラシックのLPレコード、SPレコードとクラシック音楽に関する輸入古書、国内古書を扱っています。

レコードは、50年代から60年代初期にプレスされたモラル期のLP、および、器楽曲を含めた室内楽曲と歌曲のレコードを中心に品揃えしております。

また、探求レコード、探求書も出来る限り探すお手伝いをさせていただきたいと考えております。

CLASSICUS

antique records

33 & 78 rpm

antique books

101-0051 東京都千代田区神田神保町1-64 神保町ビル1F
PHONE/FAX 03-3294-6077 OPEN 13:00~20:00 日月祝休
info@classicus.jp www.classicus.jp